

たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

5月31日現在		(前月比)
総人口	25,442人	(21人増)
男	12,444人	(15人増)
女	12,998人	(6人増)
世帯数	7,048世帯	(3世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



No.411

54・7・1

中央公園にテニスコート完成

都市公園整備事業の一環として、中央公園町民球場隣接地に造成していたテニスコートが完成。このほどオープンしました。

新しいコートは、面積が約3千平方メートル。コート4面がゆったり使えるように配置され、回りはフェンスで囲っています。事業費は2千万円でした。

六月定例町議会 出川町長行政報告



水田転作 大豆が42%

私は、去る四月二十二日の選挙を経まして、四期目の鷹巣町政を担当することになりました。

もとより浅学非才の身であります。全力を傾注し、その職を果す決意であります。

また、町政の執行に当たっては、常に町民との対話を基調としながらも、町行財政の現状を分析し、よく確認。特に財政の健全化を確保し、最小の経費をもって最大の効果を挙げることは勿論であります。併せて町民の意志の結集と調和を図り、文化性に富んだ健康な町を。また、たくましい生産性と創造の町を目指して努力いたします。

今後とも町民をはじめ、町議会各位の指導、ご協力を強く要望いたします。

それでは、三月定例会以降新年度にはいつてからの主な事項、および今後予定されている事業等について報告します。

本年の田植えは、春先の低温により立枯病が発生し、苗不足となりましたが、管内および他町村から約三千四百箱（約十分分）の救援苗で解決しました。

今年は、中成苗で五月十九日頃より始まり、六月三日で終了しました。これは平年に比べ始期で四日遅れ、終期で



五十四年六月定例町議会は、六月十八日から二十七日までの十日間の会期で開かれました。

議会は、十八日に町長の行政報告と提出議案に対する大綱質疑が行われたあと各委員会に付託。二十日が一般質問、二十一日から二十五日まで付託案件に対する各常任委員会が開かれ、二十七日に本会議を開いて閉会しました。（決議した議案については七月十五日付け広報で報告します）。

六月定例町議会で、出川町長が報告した行政報告は次のとおりです。

二日遅れとなりましたが、今後の天候の回復に期待しております。

二年目を迎えた**水田利用再編対策（水田転作）**は、四月二十日付で正式配分を行いました。各農協および農業者等の協力を得て、目標面積二百二十三町に対し昨年度より五%増の二百五十三町（百十三%）の実施見込み面積となっております。

作目別では、大豆が百五町（四十二%、昨年度比三%増）飼料作物九十八町（三十九%、昨年度比五%増）、小麦、そば、野菜等その他が五十町（十九%、昨年度比八%減）となっております。

集落ぐるみの計画転作（集団転作）は、二集落増えて三十八集落が実施する計画であり、六月六日から現地確認に入っております。本年度も機械施設、設備の導入、小規模土地改良事業等を実施するため、今回の補正予算に計上しております。

本年産米の政府事前売渡申込限度数量は、うるち米十九万九千七百七十一俵、もち米二千二百六十九俵、合計二十万二千四百四十俵（昨年度比五百二十七俵減）の配分を受けましたが、転作の実施状況とあわせ六月三十日頃、個人宛配分通知をする予定であります。

葉たばこ栽培農家は、昨年と同様三十四戸（小森十五、脇神九、岩脇五、緑ヶ丘五）一千九十町の作付で、昨年より二十%減の生産調整をうけましたが、本年一月二十日に完成した育苗施設より配付された苗も、順調な生育ぶりです。

あります。

黒沢と明利又 生活改善センター

五十四年度における山村振興事業の環境整備として、黒沢および明利又地区に生活改善センターを設置することに計画をし、県との協議も終了して今回の補正に計上いたしました。事業規模は、黒沢地区が木造平家建一棟百五十平方、補助対象事業費一千二百二十万円、明利又地区は木造平家建一棟百二十平方、補助対象事業費八百三十九万二千元となっております。県から認定あり次第発注の予定です。

七座地区に 体育館を建設

また、本年度単年度事業で農業村落振興緊急特別対策事業として七座地区今泉（旧小学校跡）に農業者等健康増進施設の体育館を設置するため、国に採択申請したところ地区採択となり、実施計画の協議が六月十三日農政局で行われ、認定あり次第発注の準備をすすめております。

事業規模は、鉄骨平家建一棟五百五十五平方、事業費六千四百八十八万円を予定しており、他に附帯事業として村づくり推進活動費二百五十万円も計上しております。

農道整備事業として、本年度新規に申請してあります石の巻線（計画延長一千四百、幅員五）については、およそ三年間の年次計画で着工が決まり、本年度は八百万円の子算配分を受け、用地買収および本工事の一部二百

の工事に入ります。

また、新規農道整備事業は、前野団地より昭和部落をとり糠沢県道に至る延長一千四百メートルの整備計画を樹て、五十五年度着工を目途に採択申請いたします。

地籍調査を実施

地籍調査事業については、一部大野台地区は実施済であるが新たに本年度より国有林野を除く全町を対象とし、およそ十三年間の計画です。すめ土地の高度利用をはかり、五十四年度は、七日市地区（岩脇、深沢、吉ヶ沢、葛黒、中畑、大畑、妹尾館）の面積約一千五百五十畝について実施します。

五十三年度発生災害復旧事業については、本年度全地区完了の見込みであります。耕作期に見合わせ四カ所は早期発注により完了しており、残り四カ所についても七月中旬に発注の予定であります。

また、三月三十日の集中豪雨により発生した災害箇所は農業用施設七カ所、被害額一千一万五千円、農地二カ所七十二万二千円となっております。農林省の査定が終り次第、予算割当をまつて発注したいと考えております。

林業関係についての造林保育事業では、町有林（中小又沢）の植栽九畝、肥培五十畝（徳石エ門谷地ほか三カ所）は五月中旬に完了し、現在湯練舟沢ほか十六カ所の下刈四百三畝を実施中であります。

また、本年度より新たに制度化され、植栽から間伐まで高率補助となる森林総合整備地区として認可され、五十四年度を初年度とし五十八年度まで、五カ年間の林業育成対策事業実施計画を策定中であります。

保育所入園児五九五人

乳幼児保育については、本年度の保育所入園児は町立四施設で二百二十九人、私立四施設で三百六十六人とはほぼ定数に達しており、保育料の軽減についても、前年度と同様に園児二人以上をもつ世帯に対する軽減、五歳児に対する最高限度額の軽減措置をすることしております。

また、懸案でありました障害児保育について、本年度は県の認可を得て、東保育園に県単の障害児保育事業（基準

額百十四万円、二分の一補助）を実施し、五月より保母一名を増員して、障害児保育に万全を期しております。

なお、現在の対象児は三人で、ほかに経過観察児二人となっております。

老人福祉では、老人福祉の町事業が後期（二年次）に入り、老後対策推進会議による事業の具体的な進め方が決定をみしたので、前期の実績をふまえ、生産活動を重点に老人自ら作り出す福祉をめざして事業の実施に入っております。

介護人見舞金支給事業の周知を図る

重度身体障害（児）者の入院の際における介護人等の見舞金支給事業については、当初予算に計上されておりましたが、今般、支給要綱の成果をみたので、四月一日にさかのぼって適用すべく、広報等を通じて該当者に周知するようつとめています。

交通安全対策については、春の交通安全旬間は統一地方選挙の関係で、五月十一日から二十日まで行われました。県内は勿論、当町においても春先以来事故が多く、例年より多い死亡者が出ておりましたが、旬間初日に交通安全大会を開いて、町民の交通安全意識の徹底をはかり、交通指導隊、安全協会、警察等関係機関の協力を得ながら事故防止に努めた結果、旬間中一件の事故もなく終ることができました。

これらを教訓に、今後に対処したいと考えております。また、不慮の事故に備える交通安全共済の加入推進状況は、五月末日現在で一千九十八件三千八百六十七人となっております。前年度より百八十七件五百九十七人の増となっております。今後さらに広報等を通じて制度の普及をはかり加入促進に努めます。

各種検診・順調に進む

町民皆検診事業を推進するため、本年度新たに保健婦活動車（一三〇〇cc）を購入し、現在地域住民の健康づくりに巡回指導中であり、各種検診も計画どおりすすんでおります。



湯の岱温泉は好評

生活環境美化をはかるため、去る四月二十九日町内各河川クリーンアップを実施したところ、約八百名の町民の協力を得て約四十、のゴミを処理しました。

湯の岱温泉は好評

湯の岱温泉湯治場の五月（開設日二十九日）の入浴者は、二千七百八十五名で一日平均九十六名となっております。好評を得ております。

五十三年の出かせぎ状況は、雇用条件がきびしくなったため、前年度とやや同様の六百四十名程度と推定されます。そのうち、互助会に加入した者は前年度並みの四百八十二名となっております。

なお、賃金不払いによる相談は一件ありましたが、解決済みとなっており、災害疾病は十六件で前年度とは同数ですが、すべて手続きを終えて見舞金を受給しております。

家内労働者（内職者）の生活安定を図るため、去る四十

また、脳卒中対策の一環として食塩濃度測定器を購入し、町内十一集落を選定の上、六月より味噌汁等の濃度測定を実施しております。

予防接種については、現在小児マヒ三百五人（九十四％）ツ反・BCGは小中学校児童生徒九百三十九人（九十五・八％）および一般乳幼児四百七十九人（九十九・九％）が実施済みであり、昨年度より新たに実施された一年六カ月児の健康診査も、五月末現在で五十七人が受診しております。

石の巻墓園は、三月末現在で九百四十二基のうち規制百六十一基、自由百十三基、計二百七十四基が分譲済みであります。今後は管理棟、植樹等の環境整備を図り、一層PRにつとめる方針であります。

六年四月より内職相談員を常置し、各事業所の協力を得て相談、あつせん等を行っておりますが、業種別では縫製十二、弱電五、その他三、計三十となっており、これに従事する内職者は縫製百五十六名(五十五・七%)、弱電百四名(三十七・一%)、その他二十名(七・二%)、計二百八十名となっております。

賃金については、仕事の内容により差がみられますが、最低賃金以下の事業所はありません。

建設関係30%を発注

建設関係の当初予算に計上された工事請負額四億九千八百八十二万三千円に対して、五月末までに発注した工事は二十九件で、一億五千九百九十二万六千円(予算対比三十・八%)となっております。

各項目別では、道路維持関係が七件で一千八百二十九万五千円、橋梁維持関係が二件百五十万八千円、河川維持は一件四十万円となっております。

一方、新設改良関係では、道路改良関係が六件で三千八百七十万円、舗装新設関係が十件で八千八百二十二万二千円、排水改良一件二百五十五万八千円となっております。

公営住宅関係は、本年度の建設予定地の在来住宅三十二戸を二百三十四万三千円でとりこわしました。五十四年度の建設工事については、今議会に提案の予定になっております。

都市計画事業につきましては、認可あり次第発注すべく準備をすすめております。

五月九日早朝、陣場岱地内において、水道管切替工事の事故による断水に対しては、



左 関係工事の順調に発注

上水道事業会計 累積欠損金を圧縮

大変ご迷惑をかけましたことを深くおわびいたします。

この事故による断水に対しては、大館市水道課、消防署、町等のタンク車にて午後九時頃まで給水しましたが、管の洗浄に予想以上に時間がかかり、いろいろな不満もあったことと思いますが、大きな混乱もなく、事故に対し理解と協力をしてくれました利用者との関係に関し、心から感謝を表します。また、五月十三日午前八時頃、陣場岱土地改良区の用水管の破損により用水の供給が出来なくなり、農繁期の時期に関係者に心配をかけたが、北秋田土木事務所において用水管の新設を五月三十一日に完了しております。

上水道事業については、経営健全化に努めておりますが、五十三年度の決算を終え、累積欠損金も一千七百二十万六千八百五十二円までに圧縮されてきております。

加入状況については、本年度の目標百件に対し、五月末までに五十三件の実績となっております。

七座簡易水道事業については、実施設計も完了しましたので、今議会中に契約議決の提案を予定しております。

綴子簡易水道については、八月に県の審査の受けるため、全体計画書を業者に委託作成中であります。

五十三年度における学校工
東小を全面補修 事関係は予定箇所全部を完了し、特に東小学校体育館工事

では、工事費一千七十六万円で床、天井、東側屋根等を全面的に補修をしました。

五十四年度工事関係については、調査設計をすすめておりますが、年次計画で実施しているプール(東小、南小)および校舎(東小)の塗装工事、および工事費三百四十万円で発注のバスケットボール、リング取付工事(竜森小、東小、綴子小、西小)は六月中に完成することになっており、これによって町内小中学校全校にバスケットボールの施設が完備されることになりました。

公認陸上競技場を建設

鷹巣中学校グラウンドを拡張し、第三種公認陸上競技場を建設することについては、西側約一・六畧の用地買収も完了し、いよいよ一週四百畧の全天候方式をもつ競技場とし

て着工の段階に入りました。

整地造成工事は、町単事業として実施し、その後本体工事は広域圏組合事業として実施することになりますが、七月中旬に着工し年内完成をめざしています。

当面、整地造成関係費として一千五百万円を本予算に計上しております。広域圏事業としては一億一千百万円程度を見込んでおり、このうち補助金一千五百万円、起債七千二百四十万円、町費負担二千三百六十万円を予定しております。

課税状況について

本年度の町民税、固定資産税、軽自動車税に関する課税事務も概ね完了し、課税状況調べ等の作業に入っているが現在の状況は次のとおりであります。

町民税は、五十四年度納税義務者が九千五百五十九人で前年度に比して十三・二%増、調定額は二億九千六百四十九万九千四百二十三・三%増。固定資産税は、納税義務者が八千一百二十人で前年度に比し四・三%増。調定額は三億三千九百四十七万七千四百十六・四%増。軽自動車税は、納税義務者が五千二百四十五人で前年度に比し二・九%増。調定額一千五十一万二千二百円十二%増となっております。

53年度一般会計 二億円弱の黒字

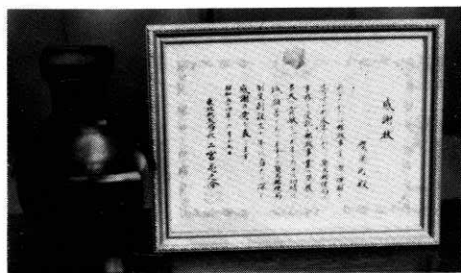
五月末日をもって出納閉鎖を終り、決算事務の整理期間中ではありますが、その概要を報告いたします。

歳入総額三十八億二千七百円、歳出総額三十六億四千四百円、歳入歳出差引額が一億八千六百円程度となる見込みであります。

予算の執行状況では、収入済額で一億二千三百七十二万五千円の収入増となっており、その主なるものは町税二千五百五十三万九千円、地方交付税四千八百五十五万九千円、地方譲与税五百九十九万一千円、自動車取得税交付金一千九百九十六万二千円等であります。一方、歳出では、執行率九十八・〇%で七千二百九十二万九千円の不用額が生ずる見込みであります。

なお、国保会計についても一億二千七百万円程度の繰越金が生ずる見込みであるので、本年度当初予算に計上した国保税より世帯当たり一万五千円程度軽減措置をとる考えであります。

〇：以上が、出川町長が発表した行政報告です。



＝今年度から新たに＝ 重度身体障害者の入院に 介護見舞金を支給

町では、今年度から新たに重度身体障害（児）者が入院した場合、その介護人に対し入院介護見舞金を支給し、重度身体障害者の福祉の増進を図ることになりました。

入院介護見舞金支給対象者は、重度身体障害（児）者の一級、三級、重度心身障害（児）者の療育手帳A級所持者が入院した場合に、三親等以内の親族および姻族が介護したときとなっています。

入院介護見舞金は、三十日を単位に一カ月とし、基準看護承認病院に入院した場合は一カ月五千円、基準看護の承認を受けていない病院、および診療所に入院した場合は、一カ月七千円の介護見舞金を支給するものです。

なお、老人入院介護費、生活保護入院介護費等、他法による措置があるときは、この介護見舞金は対象となりません。

簡易郵便局受託 優良町で感謝状

東北郵政局では、簡易郵便局制度が創設されてから今年で三十周年を迎えたことから、これを記念して去る六月十五日午前十一時から東北郵政局で、局務運営の優良な簡易郵便局受託者一団体と二個人に感謝状を贈りましたが、東北郵政局管内では当町がただ一町、優良団体として感謝状を受けました。

なお、当町の受託簡易郵便局は太田、竜森、沢口の三局となっています。

介護見舞金の支給を受けようとする対象者は、役場町民課福祉係で、見舞金支給申請書の手続きをしてくださいます。手続きは簡単です。

国民年金

年金手帳を大切に

あなたは、年金手帳（または国民年金手帳）をお持ちですね。

この手帳は、あなたの被保険者番号、住所、氏名、保険料の納付記録などを記入した、あなたの年金戸籍簿ともいえる大切なものです。

年金を受けるときに、いざこざがおこった場合、あなたの立場を守る立派な証明となるものですから、くれぐれも大事に保管してください。

くわしい点についても、福祉係でおたずねください（電話二二一一一 内線二〇六）。

もし紛失したり、破損したり、ひどくよごしたりしたときは、すぐに再交付の手続きを役場年金係でしてください。

※訂正 六月一日付広報たかのす「昭和五十四年度国民年金制度改善の内容」のうち、障害年金（一級）の月額四万七千七百九十二円とあるのは、四万九千七百九十二円です。

広報紙から ひとこと

梅雨の晴れ間、樹々の緑はこのほか美しい今日この頃です。

さて、広報紙一面には、五十二年八月一日号から「働く若者」を、五十三年四月一日号から「がんばっています」を、それぞれアップでとらえ掲載してきたところですが、今号（七月一日号）から趣きをかえ、町内で行

われる行事の模様や、季節の話題にスポットを当てて掲載することにしました。

広報紙は、町民みんなで作る町の機関紙です。あなたの町内や部落で行われる催しなど、早めにお知らせください。取材に伺います。

また、町政について考えているあなたの意見や要望、苦情等どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

お待ちしております。
総務課広報係

Ⅲ 長 日 誌

6月1日～6月15日

- 1日 県北高齢者大学開園式
- 2日 県北町村長連絡協議会
- 4日 全県中学校選抜野球大会
- 5日 町「老人福祉の町づくり」推進会議
- 7日 市 県町村会臨時総会
- 8日 社会福祉協議会総会
- 8日 七座財産区委員会
- 8日 秋田県農業改良普及事業協議会総会ならびに協議会
- 10日 全県よい本をすすめる会総会
- 11日 栄地区慰霊祭
- 12日 町内工事現場視察
- 13日 大蔵省会計検査
- 14日 例日出納監査
- 15日 町内道路視察
- 鷹角線敷設期同盟会総会
- 15日 会

Ⅳ 議 会 日 誌

6月1日～6月15日

- 6日 北秋田郡議会議臨時総会
- 7日 教育民生常任委員会
- 14日 議会運営委員会



フィンランド・北欧 研修レポート

②

北欧にカギを求めて

鷹阿発展のカギは大野台開発にある、こういわれて久しい。思いきって北方生活圏から、大野台にむけてカギを引きだすことができな

ないか、この発想が、こんどの北欧視察を実現させたものと思う。五十人に一人の通訳という不自由はあったが、課せられた「北方圏の生活と文化」の一片をレポートさせていただく。

第一歩を踏み入れた日、フィンランド人は食欲に太陽を楽しんでいた。わが一行は冬物を装い、彼等は半袖で街を闊歩、若者の表情は解放感で一杯。厳しい冬の戦いが終わったのである。フィンランドの三分の一は北極圏、七十%の森林、三万の島、六万の湖、まさに水と緑の国である。夏は太陽の沈まない日が七十日、冬は果てしない夜が五十日も続くという。日本と同じ広さをもちながら、人口は二十分の一にもみえない。まず

* 国民性

一九一七年の独立まで、スエーデン、ソ連の政権下にあった。このことが民族主義思想や自立心、忍耐力の国民性を培ったものと思う。国民所得の十%の巨額を、八年間ソ連へ賠償し、完済した一九五二年にヘルシンキオリンピックを成功させている。教育が国家目的に組まれているかの問いに、「特定や固定の思想を吹きこむことは注意しなければいけない。ただ長年育ててきた民主主義や議会主義、善隣外交の考え方は盛りあげていいのでは」と答えてくれた。二十歳で兵役の義務を体験し、自国の防衛をじっくりと見つめることは、若者たちにとって貴重な学びの期間でもあろう。映画で厳しき冬の事態を紹介し、そこから

様々な生活の知恵を探るひとこまがあった。活躍する砕氷船、盛んなスポーツ、賑わう運材、外気を遮断する二重の小窓、岩石の地下貯蔵室、サウナ……。サウナはフィンランドが発祥の地、客人も一緒にどうぞ」と文字どおり裸のつき合いをするという。気候風土がサウナを発展させたものだろう。



日本での再会を約して乾杯

* 経済と福祉

フィンランドの経済は、緑のダイヤモンドと呼ばれる森林資源が主要を占めていた。松(四十四%)トウヒ(三十八%)かば(十六%)がほとんどで、生産の七十%が輸出にまわる。年間伐採量は増加量と見合う五千七百万立方メートルにパランスされており、森林の維持、保全にかかる意気込みが感じられた。木工、家具製品は素朴なデザインに人氣が集まり、ヨーロッパ各地で引っぱりだこ。ほかに陶磁器、ガラス器などの工芸品が外貨をかせいでいるとか。でも決して裕福ではなく、質素で堅実な国といった方がいいかもしれない。自転車も自動車も、日本なら何べんも買いかえただろうものが、大事に磨かれ愛されていた。

社会福祉の先進国とは、高福祉、高負担のことのようだ。国民所得の十%が社会保障や福祉事業にむけられ、若者の所得から三十五%の税金が差し引かれても「いずれ自分たちもその立場に立つ」という扶助の理念ができていた。ここが強みであろう。

* 民族文化

フィン人の強烈な祖国愛が、レントロートの口述叙事詩「カレワラ」シペリウスの交響曲「フィンランド」の大作を生んだものと思う。ヘーミングリンナ市にシペリウスの生家を訪ね、彼の遺品をまのあたりに交響曲を録音できたのは幸運だった。首都ヘルシンキは、建築の町、彫刻の町と評されている。教会、国会議事堂、国際劇場、

* スポーツ

歩くスキー、ランニング、水泳が国民スポーツとして生活の中にとけ込んでいる。大自然相手の金のかからない種目ばかり、質朴な国民性がうかがえる。郊外にはクロスカントリーコースが設けられ、夏はサイクリングやランニング、冬は歩くスキーで樹間を縫い湖畔をめぐる。

学校教育は「生涯にわたるスポーツ愛好の気運を育てる」ためにあり、スポーツ活動の実際は、学校外の地域クラブ組織が受け入れるしくみ。学社一体のナマをみせつけられた。二年前に十五億円で建築したという六千平方メートルの体育館は、百九十坪の屋内トラックを始め、コート、リング、プールとすべての機能が配置されている。床運動をしていた女の子に、町民体育祭のバッチをあげたら、クラブのバッチをもつて追っかけてきて

くれた。フィン人の人情に触れた
気がしてうれしかった。

* おわりに

限られた紙面で、意を尽せぬま
まひとまず筆をおかせていただく。
幸いなことに、鷹巣阿仁部から
は、各階層から大挙十九名が参加

大野台開発とフィンランド村

されている。こんご数回にわたり、
それぞれの実感を寄せ合い、ぜひ
フィンランド村建設の青写真をも
のにしたいものだ。
フィン語で、さよならはフヴァ
ースティーだった。
(社会教育課長 近藤次夫)

大野台開発の基本方針は、就業
機会の増大、生活環境の整備、産
業の質的改善は勿論、大野台のも
つ自然的、社会的、経済的諸条件
を十分留意したもので、広域的、
長期的な視点から進め、鷹巣阿仁
地域の共通の利益のために特に配
慮がされている。

大野台の土地利用の考え方とし
ては、第一に、将来への可能性を
できるだけ留保する。第二に、地

域の美観環境保全に配慮する。第
三に、地域の共通の利益を尊重す
る……の三点を重視しており、必
要性、適合性を検討しながら、地
域の特質をいかして立地すること
を大切にしている。

また、工業用地、施設用地等も
国・県の施策の方向に対応しなが
ら検討されてきたのだが、今後も
この点を軸としながら進めていか
なければならぬと思う。

しかしながら、大野台開発につ
いての発想は、長年にわたり計画
検討されてきたにもかかわらず、
工業団地構想などへの実現をみな
いののは、それなりの時代の状況の
変化によるものであり、まして、
現在の減速経済下における前途は
まことに厳しく、それを承知のう
えで大野台開発推進協議会等にお
いても、大野台をいかに開発すべ
きかについて再三検討。その話し
合いの中で、この大野台にしか考
えられない開発の発想としてフィ
ンランド村建設が生まれたのだが、
いわば副産物的発想である。
フィンランドが選ばれた経緯に
ついては、すでに広報に掲載した

ので省くこととし、フィンランド
村建設に期待するものは、北方生
活圏における生活文化の向上を図
るため、工芸、スポーツ、文化活
動などの交流の拠点とすることで
あり、それがひいては国際親善、
木工技術の育成、それらを通じて
の木材の活用、地域住民の生活向
上など、いろいろな効果を生むも
のと思う。

また、観光的な側面も忘れては
ならない。最近 観光ボスターの
「北へ向って」をよくみかけるが、
現在の「秘境」は北の方にあると
いう感じだ。これらの心理的視線
は、いつから北を向くようになって
たのであろう。天子南面という古
来の影は薄くなりつつあるとき、
現代の君子は北を喜ぶようで、雪
国に住むかーと言えはたじろぐに
違いないが、とにかく北の旅をし
たがっている。

この傾向をとらえ、レクリエー
ションがしだいに自然との接触、
教養的レジャーへと志向しつつあ
るので、すぐれた自然資源、さら
には外側にある観光保護地への日
帰り圏内にある大野台は、広域観
光拠点として成立する地理的条件
をもっているといえる。これにフィ
ンランド村、その他構想されて
いるスポーツセンター、芸術文化
センターなどの建設、阿仁森吉ス
キー場開発などが加えられるなら
ば、非常にユニークなレクリエー
ション基地になることは必然であ
る。

レクリエーション開発で人々を
呼び集め、大野台を知ってもらっ
ことが、やがては工場誘置等のプ



緑豊かなカイヴォブリスト公園

ラスとなり、工業開発に結びつく
ものと思われる。フィンランド建
設活動の開始は、地域にとつてプ
ラスであり、また技術面では量か
ら質への転換を図るきっかけとな
りうるのではない。

このたびの「フィンランドと北
欧の旅」は、フィンランド村につ
いて具体的に提案されて以来、密
接な連けいを保ってきた在日フィ
ンランド大使館の協力もあって実
現され、鷹巣阿仁地域からも十九
名の参加を得て第一陣が出発。こ
れがすぐフィンランド村建設に役
立つとはいかなくても、文化、ス
ポーツの交流を軸として、新しい

考え方に導びかれた積雪寒冷地の
地域開発が、着実に進められてい
る気運にあることは高く評価しな
ければならない。

大野台のもつ豊かな可能性を一
つ一つ具体化することは、鷹巣阿
仁広域市町村圏を構成する五カ町
村にとつてはもとより、秋田県に
とつても望ましいことであり、大
野台開発推進協議会としても、今
後は関係機関、団体、圏域住民と
よりコンセンサスを得ながら、協
力して具体化を進める責任があろ
う。

(鷹巣阿仁広域市町村圏
事務局長 津谷 正明)



川は生活のオアシス

河川愛護月間

わたしたちは遠い昔から、河川の限らない恩恵を受けながら暮らしを立ててきました。

わたしたちは遠い昔から、河川の限らない恩恵を受けながら暮らしを立ててきました。たえば、「川汚れて魚すまず」——排水やゴミの投げ捨てなどで河川が汚染され、魚がいなくなる——こうして、わ

かのどの渴きをいやし、魚を食べ、かんがい用水として使い、交通、運搬の手段に役立て、産業に利用し……いつの時代にも、わたしたちは河川と深いつながりを持って生活してきました。河川は、わたしたちが生きていく上で欠かせない貴重な自然環境の一つです。しかし、一方で、都市化の波とともに、河川をとりまく環境も、時代の流れとともに大きく変わっ



たしたちの「生活の川」が失われていくのです。河川の汚れは、ひいては、わたしたち自身の生活をも汚すことにつながります。七月は「河川愛護月間」です。「生活のオアシス」である河川——手足をひたし、野草をつみ、レクリエーションの場でもある河川を汚さないように、わたしたちの手で守りぬきたいものです。

が不足するのは、夏場です。山や海などヘレジャーに出かける機会も多く、帰省する人々もあって、事業所や町ぐるみの団体献血が大変少なくなり、献血が減ってしま

うのです。一方、輸血が必要なのは、夏場であってもふだんとかわりなく、このため、手術を延期しなければ

わたしたちの体は、血液がなくては、その生命を維持することができません。といって、いざというとき、人工的に血液を作り出せるかという、もちろん答えは「ノー」です。手術や治療に欠かせない輸血用血液のすべては、献血に頼らなければなりません。一年のうちで、最も輸血用血液

あなたも献血を

夏は

「血液ピンチ」

「愛の血液助け合い運動月間」

ならない事態も過去に発生しています。

輸血といえば、かつては血液を「丸ごと」輸血していましたが、

今日では、輸血の効果を高めるために赤血球、血小板、血しょうなど成分単位に分離して、それぞれを別々の患者さんに使うようになっています。そして、採血、検査、分離は、一日で行わなくてはならず、その上、保存があまりききません。患者さんの生命を救うには、あなたの献血が頼りです。

七月は「愛の血液助け合い運動月間」です。当町へは、献血車「あつき号」が十九日来町します。血液の助け合いに、あなたも参加しましょう。



「赤い鳥」複製版
そろいました



図書館だより

鈴木三重吉 主幹の「赤い鳥」は大正七年（一九一八）に創刊の児童雑誌で、昭和十一年十月まで百九十六冊続きました。芥川竜之介「蜘蛛の糸」をはじめ、島崎藤村、鈴木三重吉、小山内薫、谷崎潤一郎の創作童話、北原白秋の童謡など、原作

そのものの姿を見ることができません。

色の鮮かな表紙をめくると、「赤い鳥」の標榜語（モットー）

がつぎのように述べています。

○現在世間に流行している子供の読物の最も多くは、その俗悪な表紙が多面的に象徴している

如く、種々の意味において、いかにも下劣極まるものである。こ

んなものが子供の真純を侵害しつつあるということは、単に思

考するだけでも怖しい。

○「赤い鳥」は世俗的な下卑な子供の読みものを排除して、子

供の純性を保全開発するために、現代第一流の芸術家の真摯なる

努力を集め、兼て、若き子供のための創作家の出現を迎える。

一大区画の運動の先駆である。

○「赤い鳥」は、只単に、話材の純清を誇らんとするものになら

ず、全誌面の表現そのものにおいて、子供の文章の手本を授けんと

とする。

○「赤い鳥」の運動に賛同する作家は、泉鏡花、小山内薫、徳

田秋声、高浜虚子、野上豊一郎、

野上弥生子、小宮豊隆、有島生

馬、芥川竜之介、北原白秋、島

崎藤村、森林太郎、森田草平、

鈴木三重吉其他十数名、現代の

名作家の全部を網羅している。

（以上摘要）

全国で二千部というこの限定複製版は高価で、貴重品ですので貸し出ししません。見たい方は図書館内で見てください。

おしらせ

中小企業中元
融資特別保証

秋田県信用保証協会では、季節的に必要な運転資金融資のため、中小企業中元融資特別保証貸付を八月十日までの期限で受付しています。

▽保証最高限度 一千万円（組合の場合は三千万円）

▽保証期間 六カ月以内

▽返済方法 一括返済または割賦返済

▽保証人 一名以上 原則として担保は徴求しない

▽保証料率 年率〇・九五%

▽貸付利率 金融機関の保証貸付貸出利率

『ライオンズクラブで』

体育館前に
太陽時計を寄贈

鷹巣ライオンズクラブ（成田聡武会長、会員四十七人）では、このほど体育館前に「太陽時計」を設置、町に寄贈しました。



税務大学生募集

申し込みなどのくわしいことについては、各金融機関または商工会、保証協会大館支所におたずねください。

国税庁では、税務大学校受験を募っています。

これは、国家公務員採用初級試験（税務）に合格し採用されますと、実務に従事する前に専門教育を受けるため、給与をもらいながら約一年間の研修を受け、卒業と同時に税務職員としての地位が保障され、国税の仕事に従事するというものです。

多くの方が応募されるようおすすめます。

募集要領は………
▽受験資格 昭和三十四年四月二

寄贈された「太陽時計」は、太陽熱を電気エネルギーに替えて作動するもので、五年間は手入らずという便利なもの。

高さ四メートルの鉄柱に、八十センチ四方の標示板で、かなり遠くからでも時刻が判り、体育館や屋内プールを利用する人、付近を通る人から喜ばれています。

日から昭和三十七年四月一日までに生まれた男子

▽申し込み期間 七月十一日から七月二十日まで

▽試験日 第一次試験（九月三十日）、第二次試験（十一月六日）

から二十一日のうちに一日）

▽合格発表 十二月二十日

▽申し込み先 仙台市本町三十三

― 人事院東北事務局

なお、詳細については大館税務署総務課（電話四二一〇六七）へ。

婦人家庭バレー
ボール参加受付

第二十四回鷹巣町婦人家庭バレーボール大会が、七月八日午前九時から、鷹巣小学校体育館で開かれます。

参加希望のチームは、七月四日午後一時半まで、教育委員会（戸島）へ申し込みください。

チームは、各部落または地区単位で、戸数五十戸〜百戸ごとに編成してください。

出かせぎ相談
指導員を委嘱

町では、出かせぎ相談指導員に四月一日付で、次の七名の方々に委嘱いたしました。

お気軽にご相談ください。

成田政一（七座地区） 福原吉郎（栄地区） 永井修二郎（坊沢地区） 加貴谷与造（綴子地区） 畠山要吉（鷹巣地区） 小原清（沢口地区） 佐藤助蔵（七日市地区）

寺田服装専門学校
市民学校受講者募集!!

希望者は、どなたでもお気軽に申し込みください。

◇開設期間 7月27日〜8月6日までの日曜日を除く7日間

◇内 容 Aコース（開衿、スカート、美学など）
Bコース（軽装帯、カブロン、染、組紐など）

◇受講料 無料（実習材料費個人負担）

◇定 員 各コース 20名

申し込みは、7月10日まで鷹巣公民館（2-1130）または寺田服装専門学校（2-2475）へ。くわしい要項があります。

青少年を非行から守る

全国強調月間

＝ 7月1日～7月31日 ＝

重点事項

- ① 県民の非行防止意識の高揚
- ② 生徒非行の防止
- ③ 少年を取りまく有害環境の浄化

みんなの
みんからで



非行化防止は

地域のみんなが 輪になって

『西小・学校保健委員会』

どこの学校にも保健主事があり、学校保健委員会というのが設置されているが、開店休業のところが多い。児童生徒の体位と体力のアンバランスが問題になっている今日、さすがに「健康優良校」として全国表彰された、本町の西小学校の学校保健委員会のまじめな活動は注目に価する。

地域ぐるみの全員協議会

西小の保健委員会の構成は、教職員、児童会代表、PTA代表、地域関係機関代表、町内、部落代表、指導助言者（医師、薬剤師、その他専門家）からなり、百名に近い。

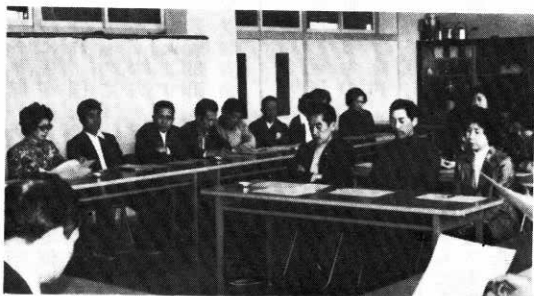
全員協議会は年四回、今年度は次のような主題を掲げている。

六月・丈夫な体と清潔な環境
九月・親子活動と安全生活
十二月・寒さに負けない体

二月・年間反省と明年度計画

六月十二日、第一回の全員協議会は体育館で開かれ、「四季の歌」の斉唱ではじまった。司会者はPTAと児童会から出され協議に入った。話題の中心は「定期健康診断の結果と、その対策」である。

糖分のとり過ぎを問題に



西小の児童数は二百三十三名、定期健康診断の結果によると、胸囲は全国平均より優れているが、身長、体重はやや劣る。

▽ローレル指数（身長と体重から割り出した数値）では、肥満型は少く、痩せ型が多い。痩せ型については、かなり運動しているのに、朝夕のご飯を一杯か一杯半しか食べれない子供が多いことが問題になった。それは、間食を多くとり過ぎていいるからで、間食の与え

方は検討を要する。
▽う歯の所有率が最も低かったのは五十一年度の七〇％で現在は八十五・二％とまだ多くなってきた。親子歯みがきなどよくやっている筈だが、糖分のとり過ぎをおさえないと、むし歯を少くすることはできない。ということが問題になった。

部落別保健委員会で

さて、「間食の与え方の工夫」と、「糖分のとり過ぎをおさえる」の大切なことが解ったが、どのようにしてこれを実践に移してゆくか……

「家庭健康会」で、家族の話合いで……いや、それだけでは守れない。地域のみんなに、このことを解ってもらい実行してもらわなければ、ということになり、

▽PTA生活補導部委員長がチラシを各家庭に配布する。

▽部落、町内毎の保健委員会を開き徹底をはかる。

と、いうことになった。

生活全般・地域の輪

なお、この日は二人の親から、「親子体力づくり」と「きょうだいハミガキ」の実践発表があり参会者に感銘を与えた。

高田校長先生は「健康教育は、生活全般にわたることなので、地域みんなが輪になって子どもの育成を考えることです。部落別保健委員会に期待しています」と語っていた。

部落訪問



さん わたり
＝三ノ渡＝

七日市の奥地、三ノ渡は竜森小学校から七百米ほど先にある現在三十二戸の部落で、役場からはおよそ十八軒ある。

橋本松太郎さん宅を訪ね、この集落の今昔について聞いた。松太郎さんの母キサさん（八十四歳）の生家が「三ノ渡」の姓であつたということに興味を持ちでてきた話を総合すると、大体的なようになる。

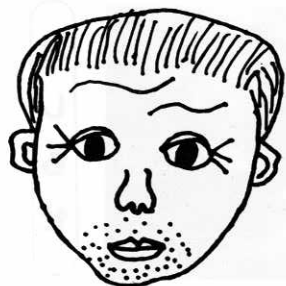
明利又には浅利氏の居城があつた頃、いろいろと荷駄を運んだ人達が住み着いたのが始まりで「三ノ渡」の地名は三つ目の渡り場のことらしい。なにせ七百年も前のことなので当時、荷物を背負って川を渡るとは大変なこと、地名からすると葛黒を一つの渡り、与助宿を二ノ渡りと呼んでいたのかもしれない。

やがて、浅利氏は比内の独鈷に移るが、この人達は僅かの耕地と山林を相手に自活してきた。そして明治の中期にこの台地原野を水田化するための大がかりな用水路工事を始める。地ならしの重機も、揚水の電気も



なかつた時代のことである。
道端の草むらにかくれた小さな開墾記念碑には、明治二十五年、同四十四年建立、発起人、三上敬助、橋本専助外二十四名とある。今に伝わる「田島堰」「加藤堰」は工事請負人の名をとつたものであろう。鍬とモッコを道具に作られた小さな段々水田が広く整地されたのは今から数年前のことである。

（公民館長 長崎 久）



わたしのおとうさん

わたしのお父さんは大工をしています。毎日休まないうで働いているので、半袖をきると日にやけた所がすくよくわります。

おとうさんがわらうと目の横の所にしわができます。おとうさんは昼はよそに働きにいて、しごとかから帰ってくると田んぼに見ま



竜森小学校 4年
藤 本 恵 子

わりにいつているから、朝からばらまで大変だなあと思います。いつまでも元気でしごとをしてください。

五十二年二月、未熟者ながら教室を開きました。日も浅いのでお弟子さんの数は少いのですが、私と同年代の方達です。友達同志という雰囲気、私のこれまで勉強してまいりました事、また、私の力で出来る限りの事はすべてお教え致したいと思っております。私共は生田流箏曲清友会と申しまして、家元は秋田市の足達清賀先生であります。私は流派、会派をとわず、良いもの、プラスになるものはどんどん摂取する方針で、先月も教室一同、秋田市へ他の会派の演奏会を聴きに行き大いに勉強させられてまいりました。



(紹介者 河田 和子)

私の師匠の持論であります「曲数で判定するのではなく腕で勝負したい」という言葉通り進んで行きたいものだと思っております。

脱線のようにですが、島崎藤村の詩句と箏曲の唄の關係は、大変おもしろく感じております。草枕、その中よりの宮城野、春の曲よりのうてや鼓、潮音、若水、新曉など、流れるような快い七五調のリズムが調べの魅力の源泉です。

最後に、お琴は、日本女性に一番ふさわしい楽器ではないでしょうか。

わがサークル

清 絃 会 琴 教 室

親子読書のすすめ

大町 成田 敦子(38)



子供と共に成長する母でありたいと願いつつも、何

をどのようにしたらよいものかと思っておりました時に、「心豊かな子供」をスローガンの親子読書会のあるのを知り早速入会して四年目になります。子供が大きくなるにつれ本を読み一緒に語り合う事が少なくなりますが、学校に「親子読書会」があるお蔭で、例会等

で先生、親、子供と一緒に同じ本を読み、味わい、語り合う機会に恵まれております。

同志や親子で読み語り合う事によって物を見る力や考えがお互いに成長しよりゆたかな心に育って行くのではないのでしょうか。

また家庭においても、読書を通しての会話は角がなく我が子を知り子供の持っているものを引き出す絶好のチャンスでもあると思います。

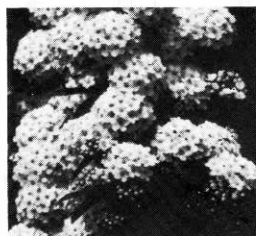
親子の小さな足跡を残そうと毎年親子で読書感想文を書き続けている方の体験発表を聞きすばらしい事と感嘆しました。親子の心のふれあいを形として表わせる最高のものと思つたのです。文集作りにあたり、拙な文章でしたが、私共も親子で読後感を綴ってみま

した。

文章を書く事は至極難儀な作業ですが、書く事の楽しさも少しずつ分つて来たこの頃です。公民館の親子読書会(みどり会)では、今年はずり絵本や史跡探訪を計画しておると聞き、英語会話の籍に加えて、興味深く仲間に入れて頂きました。

去る六月十日の秋田県よい本をすすめる親子読書会総会、記念講演、座談会は滞りなく盛会に終りました。これも皆様のご協力の賜物と深く感謝致しております。国際児童年に、この様な行事が私達の町で出来ました事は大変意義深いものと思ひます。これを機会に親子読書の輪が沢山出来まます事を祈っております。

みんなの広場



こ で ま り

花が小さく球状にまとまっている。中国の原産庭に植栽されている。

(南小・阿部達雄先生)

広報のしおり

気 象

いよいよ夏の訪れになりませんが、月初めはまだ梅雨が残ってさっぱりしません。しかし、中間ごろには梅雨明けとなるでしょう。こよみに

入梅というのはありますが、出梅というのはありません。むかしは夏至のあとのかのえの日とか、小暑のあとのみずのえの日とかいっていましたが、今はすたれてしまいました。梅雨も終わりに近づくと北太平洋高気圧の腰も強くなり、いよいよ本格的に西へはり出し、その先端が東シナ海のほうに進み

はじめますので、それに押しあけられて梅雨前線も北に進みます。ところで、このころになると大雨豪雨と呼ばれる集中豪雨が見舞います。こういう降り方は広い地域に降るのではなく、せまい場所に、短時間のうちに集中して降るので、天気予報には注意を怠らないようにしましょう。

おしらせ



一級美術会会員 九島薫二氏

七月の健康相談

七月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十一日と二十五日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

フッ素イオンむし歯予防は、十一日です。

時間は、午後一時から午後三時まで。対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れないでください。

妊婦健康相談は、二日と十六日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでください。
また、今月の母親学級は、妊婦体操と妊婦前半期の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。
※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

乳児健康相談は、十九日、五十四年三月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時まで。

離乳食実習指導は、十九日、五十四年十二月生まれとなっています。受付時間は、午前九時半から一時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

三歳児健康診査は、五日、五十四年五月、六月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時半まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでください。
※場所は、いずれも鷹巣保健所で

予防接種

生後二十四カ月から四十八カ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。
接種日は、鷹巣地区以外の方は

三十日、鷹巣地区の方は三十一日。受付時間は、午後一時から午後二時まで。鷹巣公民館保健相談室で行います。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦（助産婦）による妊婦訪問を行います。

七月は、▽十日、栄地区、▽二十四日、綴子地区となっています。訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

胃の集団検診

町では、ガン予防対策の一環として、胃の集団検診を七月三日から九月十九日まで実施いたします。

検診日程については、随時広報に掲載いたしますので、対象地域の検診日に受診してください。

検診時間は、いずれも午前六時から七時まで。検診前日の夕食後は、お茶、おやつ等を取らないでください。

検診料は、一人六百円（生保世帯無料）です。

7月3日：松沢、明利又（松沢補導員宅前）
4日：上舟木、下舟木（上舟木会館）
5日：岩脇、品類、吉ヶ沢、深沢、吉野（岩脇会館）
6日：三ノ渡、与助倍、黒森（三ノ渡会館）
7日：葛黒、大畑（葛黒会館）
10日：中畑、妹尾館、横瀬、根本屋敷（七日市

善意

基幹集落センター 11日：七日市一（六組）同 12日：坊山、湯ノ岱、四渡（坊山会館） 13日：小森（小森会館） 14日：脇神上野、中屋敷（脇神会館） 17日：藤株、小摩当（藤株会館） 18日：堂ヶ岱、高村岱（堂ヶ岱会館）

▽秋北ブラザ楽器部（代表者 菊地悟）の方から、チャリティーコンサートでの収益金一三、〇三〇円
▽藤株：加賀松五郎さんから三、三〇〇円
▽町社交ダンス教室の方々から、チャリティーダンスパーティーの収益金二〇、三五〇円
それぞれ社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽摩当：久留島照悦さんから亡父勇治さんの香典返し
二〇、〇〇〇円
▽栄町：寺園太志さんから亡父三雄さんの香典返し
三〇、〇〇〇円
▽花園町：豊川保博さんから亡母リノさんの香典返し
二〇、〇〇〇円



6月1日～6月15日

誕生おめでとうございます

二人の前途を祝福いたします

五代儀 義富 元新町
林 寿美子 松葉町
工藤 幸一郎 横浜市
田村 幸子 岩坂
三沢 重一郎 秋田市
松尾 久美子 太田
竹田 光夫 米内沢
山城 征子 七日市
石戸 清一 大館市
本間 元子 脇神
前田 博也 掛泥
佐藤 美枝 大館市

おくやみ申しあげます

松尾 リエ（80歳） 太田

▽太田：松尾茂次さんから亡母リエさんの香典返し
二〇、〇〇〇円